

# オレンジ香でフレッシュジュースに適した カンキツ新品種「果のしずく」の育成

## 果樹部

### 1 背景、目的

近年、果物に対する消費ニーズは多様化し、生果として食味が優れるとともにフレッシュジュース等新たな消費スタイルにも適した個性ある品種が求められています。

そこで、県産カンキツの有利販売を図るため、果汁の多さ、香り、種子の少なさ等の優れた特性を持つ県独自のブランド品種「果のしずく」を育成しました。

### 2 成果の内容、特徴

- 1) 果肉が軟らかくオレンジの風味を持つ「清見」を母親に、減酸が早く糖度が高い「早香」を父親にした交配組み合わせから育成した品種です。
- 2) 樹姿は長円で「清見」に似ていますが、枝は下垂しません（写真1）。隔年結果性は「清見」より小さく、収量は10a当たり3t程度で安定しています。枝梢の棘がほとんど認められず、栽培は容易です。
- 3) 果形は扁球、果皮は滑らかで橙色です（写真2）。果皮は硬くて剥きにくいものの、浮皮が発生しません。オレンジのようにカットして食べるタイプのカンキツです。果皮は薄くて果肉の割合が高く、果肉は軟らかく多汁で、オレンジ香です。中晩生カンキツとの混植園でもほとんど種子はできません。
- 4) 皮付きで搾汁してもカンキツ特有の苦味が少ないことから、フレッシュジュースの用途にも適しています（写真3）。
- 5) 完全着色は12月上旬で、1月下旬には糖度は11度以上、クエン酸含量は1.0g/100ml程度で、食味は良好です（表1）。

### 3 主要なデータなど



写真1 「果のしずく」の樹姿



写真2 「果のしずく」の果実



写真3 「果のしずく」の果汁（左）  
「清見」果汁（右）に比べ、橙色が濃い

表1 「果のしずく」の果実品質（果樹部）

品 種	着色 程度	果皮色 (チャート)	浮皮	果 形			果実重 (g)	果肉 歩合 (%)	糖度 (Brix)	クエン 酸含量 (g/100ml)	種子数 (個/果)
				縦径 (mm)	横径 (mm)	指数					
果のしずく	9.8	8.3	0.0	66.8	79.1	117	215	78.7	11.4	1.00	0.7
清 見	9.0	6.8	0.0	68.9	78.7	114	217	73.7	9.8	1.27	11.2

注) 平成14～19年産果実の1月20日分析値の平均